

## Report

自由民主党・創明会 研修報告  
県外調査 香川・徳島・高知  
2014年10月27日-29日

当会派では10月27日から3日間、香川、午後は徳島県庁の観光政策課や畜産課を訪ね、観光振興政策や地域ブランド「阿波尾鶴」などへの取り組みについて研修をしました。

1日目は香川県庁を訪ね「地域活性化総合特別区計画」の中の「医療福祉総合特区」と県の観光振興策「うどん県。それだけじゃない香川県」プロジェクトの取り組みについてお話を伺いました。

3日目は、有川浩さんの小説『県庁おもてなし課』のモデルになった高知県観光振興部「おもてなし課」を訪ね、「高知県おもてなしアクションプラン」の取り組みについて研修してきました。

2日目は、徳島県神山町の神山町農村環境改善センターを訪ね、NPO法人グリーンバーの大南理事長からIT系ベンチャー企業のサテライトオフ

3日間の研修では、3県とも人口減少、過疎化、高齢化の問題を抱える中、県民の参加と協働による振興に取り組んでいく状況が、本県にとっても大いに参考になりました。

## News

武川勉氏  
「自由民主党・創明会」に入会



武川勉(takeshi takekawa)  
富士吉田市選挙区

山梨県トラック協会と意見交換会



山梨県トラック協会坂本会長と役員の方々との意見交換会をしました。  
(平成26年9月)

## Report Photo

## 10月27日:香川県政務調査



丹下健三氏設計の香川県庁前で



県医務国保課を訪ね、医療特区について意見交換



県観光振興課を訪ね、「うどん県。それだけじゃない香川県」プロジェクトへの取り組み状況について研修



## 10月28日:徳島県政務調査



神山町農村環境改善センターで、大南理事長から話を伺う



神山町のサテライトオフィス前で



県観光政策課を訪ね、観光振興への取り組みについて研修



県畜産課を訪ね、地域ブランド「阿波尾鶴」への取り組みについて研修

## 10月29日:高知県政調査



高知県庁前にて。写真右上の看板は、高知県=高知家(県民は一つの家族というコンセプトから)



県おもてなし課を訪問



おもてなし課で「高知県おもてなしアクションプラン」について研修

## No Limited Soumeikai

## —限りない挑戦—

## 今、山梨の夢を描こう

私たち自由民主党・創明会は、県民生活の向上を目指し、県議会活動を軸に、山梨のより良い未来像を探って参りました。横内県政は富士山の世界文化遺産登録、リニア中央新幹線、中部横断自動車道など、多くの実績を残しましたが、理想の実現には正に夢なればありました。

富士山世界文化遺産は登録3年目に入ろうとしています。遺産と景観保存、観光との融合などの課題克服はこれからです。リニア中央新幹線。これも同様です。山梨の発展につなげるための事業整備はこれからです。間違っても「開通した」だけで終わらせてはなりません。少子高齢化対策と人口減少への対応。まさに最大のテーマです。10年後20年後の県民の暮らしは、この現実への対応にかかっていると言っても過言ではありません。

私たち自由民主党・創明会は新たに1名が加わり総勢11名になりました。同志の絆力を「夢の実現」へ向けて知恵を絞り、行動を起こそうと誓いました。合言葉は「明るい山梨の未来を拓こう」です。県民の皆様のお力を寄せください。



Vol.5

2014年冬号

山梨県議会議員  
**自由民主党・創明会**  
県議会レポート

【発行元】自由民主党・創明会

甲斐市  
**清水 武則**  
Minoru Shimizu



笛吹市  
**山下 政樹**  
Masaki Yamashita



甲州市  
**鈴木 幹夫**  
Mikio Suzuki

南アルプス市  
**久保田 松幸**  
Matsuyuki Kubota

富士吉田市  
**武川 勉**  
Tsutomu Takekawa

甲府市  
**皆川 巍**  
Iwao Minagawa

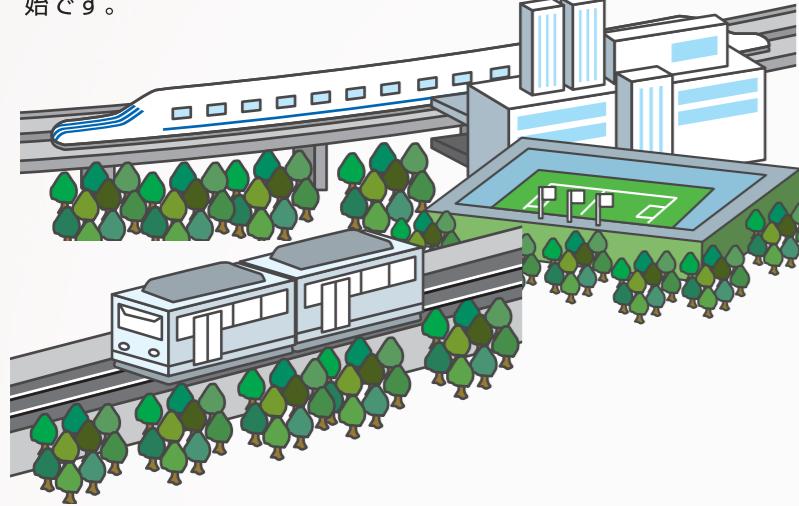
南アルプス市  
**斎藤 公夫**  
Kimio Saito

北杜市  
**大柴 邦彦**  
Kunihiro Ooshiba

# 「自由民主党・創明会」が 未来の明るい山梨を描きます

## 1 リニア中央新幹線への夢

まず目指すのはリニア駅周辺に、**ビジネスパーク**、**学術研究都市**等の整備です。夢の中には**サッカー専用スタジアム**の建設も考えられます。ビジネス、学術、スポーツの三位一体で、リニア効果を最大限活かします。また、リニア駅と甲府駅は**次世代型路面電車**で結び、山梨の明るい未来を目指したいと願っています。直ちに行動開始です。

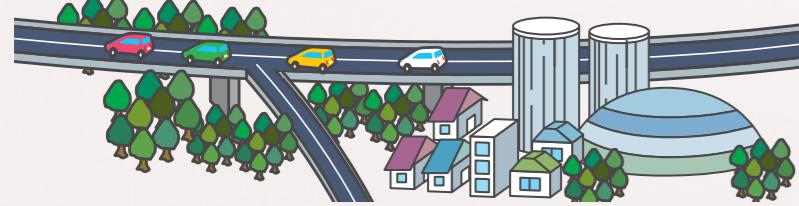


## 2 南アルプスユネスコエコパーク

2014年6月11日に「南アルプスユネスコエコパーク」が正式に登録承認されました。3県10市町村（県内は北杜市、韮崎市、南アルプス市、早川町の4市町）にわたる我が国を代表する自然環境を有している地域です。優れた自然環境の永続的な保全と持続可能な利活用に共同で取り組み、海外へも発信できる財産に育てていこうではありませんか。将来に向けて、停滞しがちな地域を活性化する貴重な起爆剤となるはずです。山麓周辺の整備と共に、自然の恩恵を活かした魅力ある地域づくりを図ることを目指します。

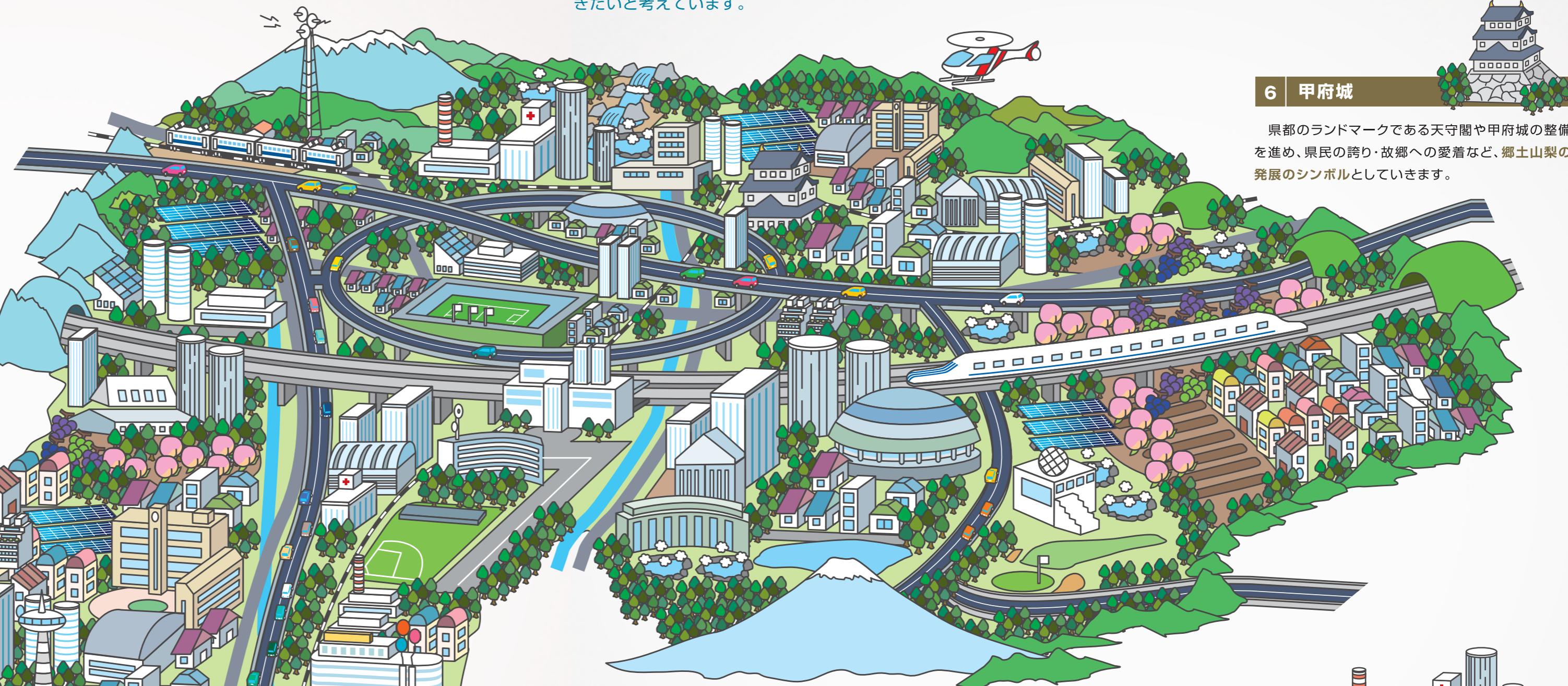
## 3 広域道路ネットワーク完成への夢

中部横断自動車道の甲府盆地以南の建設工事は順調ですが、残された北部区間（長坂JC～佐久小諸JC）の開通は、**八ヶ岳観光圏の振興**、自然や地形を生かした企業誘致のために必要です。併せて、**中央自動車道 上野原IC～調布IC間の6車線化**、**東富士五湖道路 須走IC～新東名・御殿場ICへの延伸**です。山梨の高速道路網の完成、充実の夢はもう手の届く所にあります。リニアにしても中部横断自動車道にしてもストロー効果などという負の部分の克服も大きな課題です。



私たちの考える未来の山梨のイメージ図です

日本創生会議の人口減少問題検討分化会の推計によると、「2040年には主に地方の若い女性の減少により全国で896区市町村が消滅の危機に陥る」と指摘しています。本県に限っては28市町村のうち16市町村が該当しています。別の調査推計では、同じ2040年、山梨の人口は66万人台とも発表されています。これはまさに「悪夢」です。ただし、いずれの推計も「何の対策もせず、現状のままなら」という但し書きつきとなります。ふるさと山梨は、この推測を甘受するわけには行きません。今、全国の都道府県がこの危機を真剣に受け止めています。2040年と言うと、今年誕生した赤ちゃんが25歳を迎えます。掲げた夢の一つでも多くを現実にして、次世代にバトンタッチしていきたいと考えています。



## 4 県内道路ネットワーク完成への夢

当面の課題は、①新山梨環状道路 ②西関東連絡道路（山梨・甲府市～埼玉・深谷市）③大月バイパス（大月市駒橋～花咲）④都留バイパス⑤国道138号拡幅（富士吉田市上吉田7丁目～上吉田堰林）⑥甲府～富士北麓を結ぶ（仮称）新々御坂トンネルや富士吉田～忍野・山中を結ぶ連絡道路（1市2村道）のそれぞれの整備を目指します。

**リニア、広域道路、県内ネットワークの3点セット**で山梨の活力は確実にアップしますし、夢に終わらせてはなりません。それぞれへの動きは加速中であり今後も実現に向けて取り組んでまいります。

## 5 個性を伸ばす教育への夢

教育は、確かな未来を築くための必要不可欠な投資です。明るい社会を築くためには幼児、学童、生徒等が成人を迎えるまでの教育の充実が次代の宝になります。たとえ国の経済が行き詰ったとしても、明るい地域づくりは子供たちへの教育が大きな力となるはずです。学校教育の場は、未来へ向けた文化、スポーツ活動の礎です。「**やまなしの人づくり**」を完成させましょう。



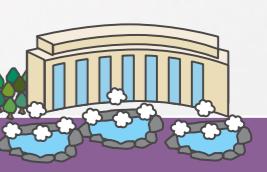
## 6 甲府城

県都のランドマークである天守閣や甲府城の整備を進め、県民の誇り・故郷への愛着など、郷土山梨の発展のシンボルとしていきます。



## 7 多様性豊かな働く場想像への夢

製造業、農林業、観光業、サービス業。働くための業種は多様です。その一つひとつをチェックし、**中身の濃いものに変えていく**というのが私たち会派の願いです。例えば、高齢化の象徴とされている農業です。高齢化の波に反して「新しく農業に挑戦してみたい」という方が増えています。多様な営農による職場という新たな魅力作りが必要です。新しいアイデアで**山梨農業再建**の糸口を探るべきです。主要産業である観光は伸びる可能性大の分野であり、**世界文化遺産である富士山周辺**をはじめ県内各地域の振興策を考えていきます。



## 8 生涯地域生活実現への夢

地域包括ケアシステムの完成が不可欠です。住まい、医療、介護、予防、生活支援資源の整備等、これから取り組まなければならないことは山積しています。資金不足などとは言っておれません。できる事から一つひとつチェックし、充実したケアシステムの完成を目指します。まずは県立大学に**ケアマネージャー養成コース**の設置を働きかけます。医療環境の整備も本県は途上であり、**がんセンター**の整備、医療過疎地域の解消等が必要です。